

# ディスクの取り扱い

# パネルの脱着・お手入れのしかた

## CD (コンパクトディスク)



このマークが付いているものをご使用ください。

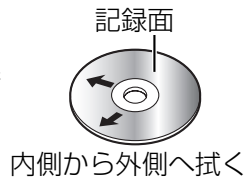
### 持ちかた

記録面に手を触れないように持ってください。



### CDが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



- 回転する方向に拭かないでください。
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

## CD-R/RWディスクのご使用について

CD-DA、MP3、WMA以外のデータ(ビデオCDなど)は、再生できません。

- CDレコーダー (CD-R/RWドライブ) で記録したCD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクは通常の音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いので、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- クローズセッションされていないCD-R/RWディスクは再生できません。

## CDの保管について

### 長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

### 次のような場所に置かないでください

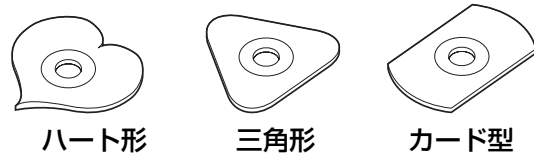
- 長時間直射日光のあたるところ (車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接あたるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気にふれるところ
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

## コピーコントロールCDについて

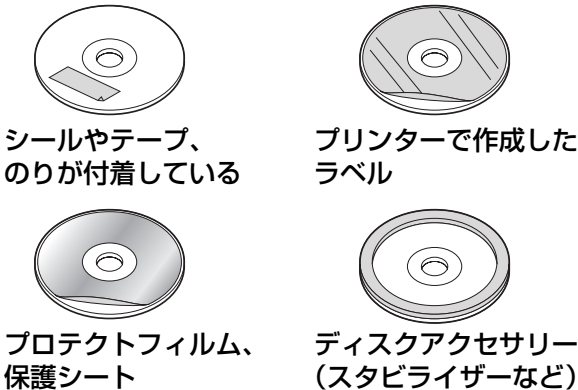
パソコンなどによるコピー防止を目的にコピーコントロールが施された音楽CDが発売されています。これは、現状CD規格に合致しないディスクであり、本機での再生は保証いたしかねます。通常のCDを用いた再生には支障がなく、コピーコントロールCDを用いた再生にのみ支障がある場合は、コピーコントロールCDの発売元にお問い合わせください。

下記のようなディスクは使用しないでください。本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損および本機の故障の原因になります。

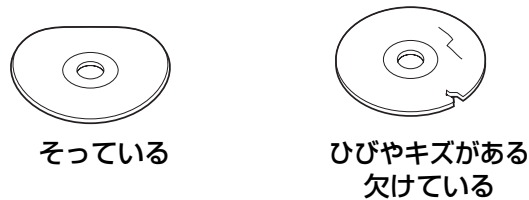
### ■ 円形以外の特殊な形状のディスク



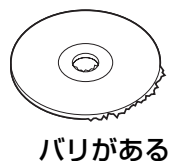
### ■ ラベルなどを貼り付けたディスク



### ■ 破損・変形したディスク

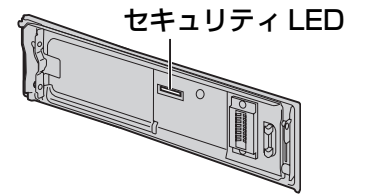


### ■ 粗雑なディスク



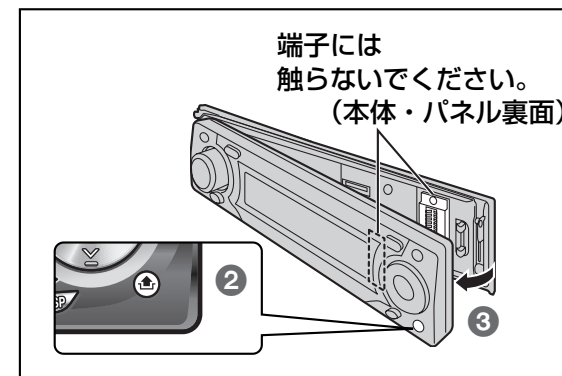
車から離れるときにパネルを取りはずせるので、盗難防止に効果があります。(デタッチャブルフェイス)

- パネルを取りはずすと、盗難防止用のセキュリティLEDが点滅します。(セキュリティ機能がONの場合 44ページ)



## 取りはずしかた

- 1 本機の電源を切る
- 2 (リリース) を押す
- 3 パネルを手前に引く (クリック感があります。)



### お願い

- パネルを閉じた状態 (全閉) に戻してから、はずしてください。また、パネルが動いているときに、取りはずさないでください。
- 本体とパネル裏面の接点 (端子) には触らないでください。電氣的な接触不良を起こす原因になります。汚れやゴミなどがついたときは、清潔な乾いた布で拭いてください。

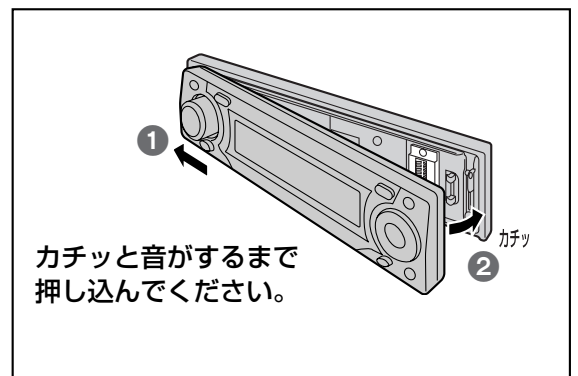
## パネルのお手入れについて

### パネルが汚れたときは

- 電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。

## 取り付けかた

- 1 左端を本体に差し込む
- 2 右端をはめ込む



## 取りはずしたパネルは

- 破損しないように乾いた柔らかい布で包むなどして保管してください。
- 衝撃を与える、落とすなどしないでください。
- 気温が上がるダッシュボードやその周辺に、置かないでください。
- 故障の原因になりますので、水をかけたり、湿気の多いところに置かないでください。(パネルは防水されていません。)



使用しない

ディスクの取り扱い / パネルの脱着・お手入れのしかた

必要なときに